

IV 第42回市政に関する世論調査の結果

1. 宇都宮市に対する感じ方について

(1) 宇都宮市の好き・嫌い

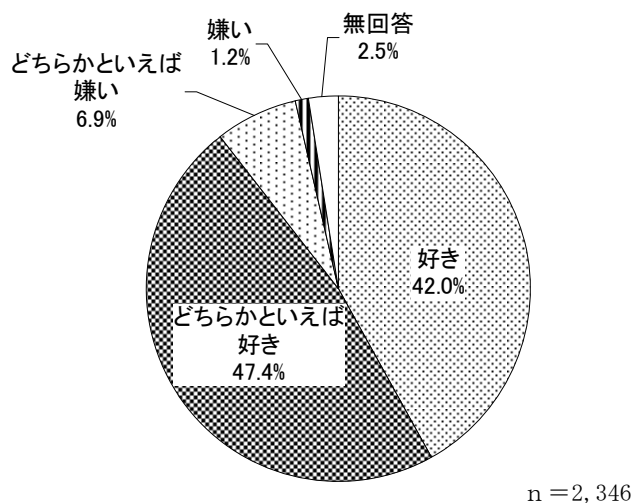
◇「好き」(42.0%)と「どちらかといえば好き」(47.4%)を合わせた【好き(計)】が約9割

問1 宇都宮市を好きですか。それとも嫌いですか。(○は1つ)		n = 2,346
1	好き	42.0%
2	どちらかといえば好き	47.4
3	どちらかといえば嫌い	6.9
4	嫌い	1.2
	(無回答)	2.5

宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」(42.0%)は4割を超え、「どちらかといえば好き」は5割近くであり、この2つを合わせた【好き(計)】(89.4%)は約9割となっている。

一方、「どちらかといえば嫌い」(6.9%)と「嫌い」(1.2%)の2つを合わせた【嫌い(計)】(8.1%)は1割に満たない。(図IV-1-1)

<図IV-1-1>全体



性・年齢別で見ると、「好き」は＜女性/60歳代～70歳以上＞で半数を超え高くなっており、＜男性/40歳代～60歳代＞と＜女性/20歳代＞で4割を超えている。一方、【嫌い（計）】は、＜男性/20歳代～30歳代＞で1割を超えている。（図IV-1-2）

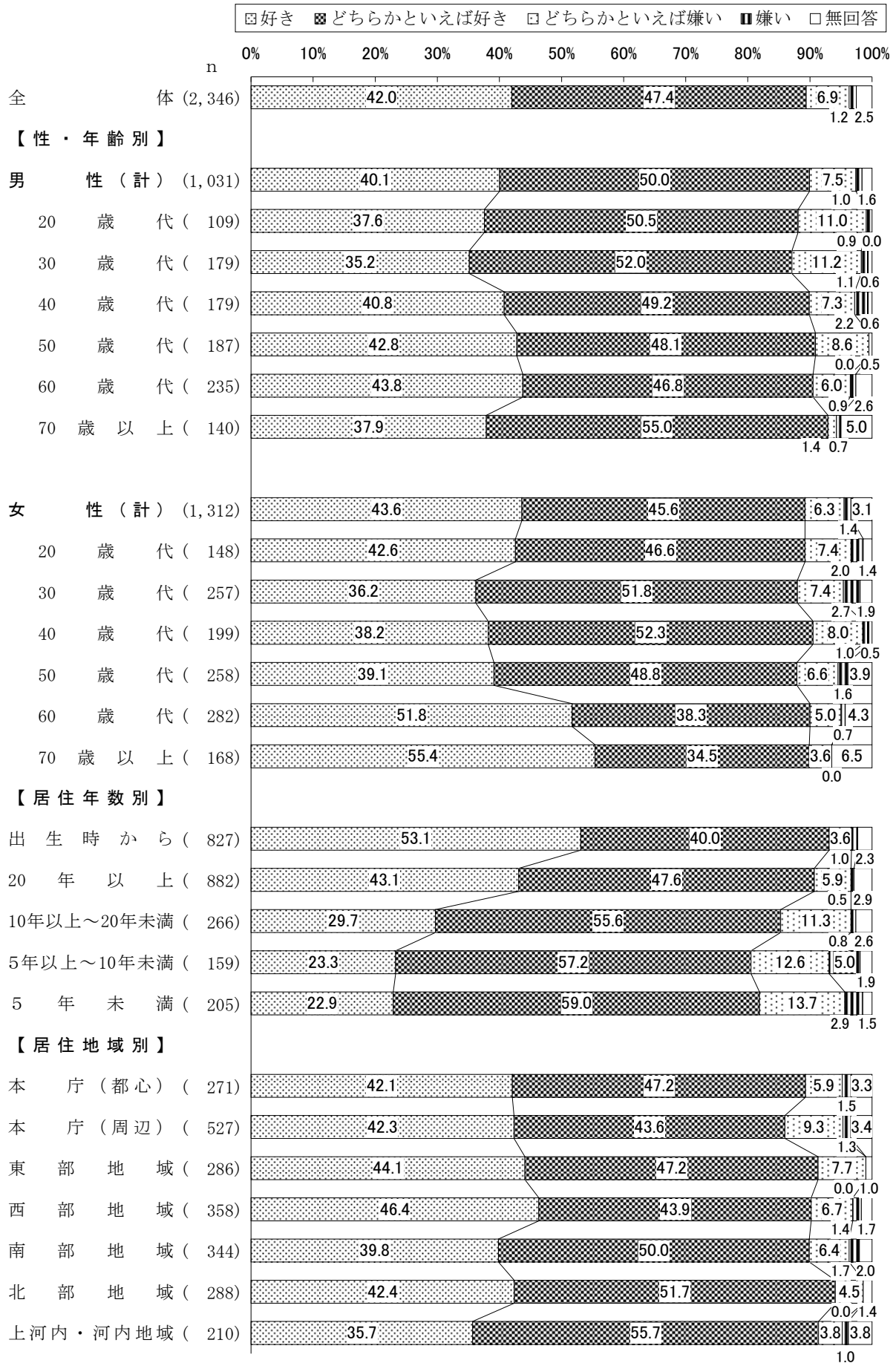
居住年数別で見ると、「好き」は居住年数が長いほど高くなっており、＜出生時から＞（53.1%）では半数を超え、反対に、＜5年以上～10年未満＞（23.3%）、＜5年未満＞（22.9%）では2割台前半となっている。（図IV-1-2）

居住地域別で見ると、「好き」は各地域で4割前後となっており、特に＜西部地域＞（46.4%）で最も高くなっている。（図IV-1-2）

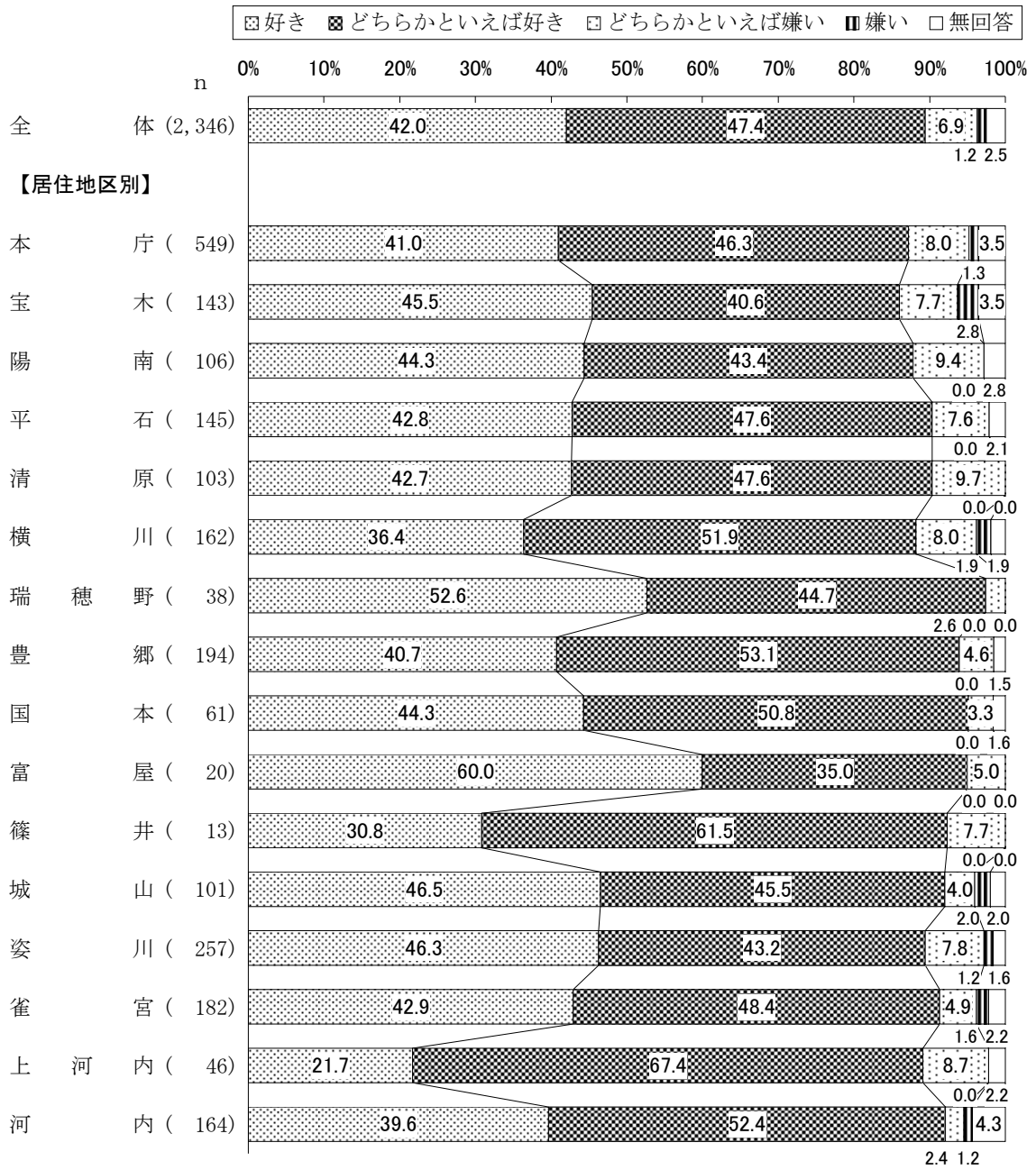
居住地区別で見ると、「好き」は＜城山＞（46.5%）、＜姿川＞（46.3%）、＜宝木＞（45.5%）では4割台半ばを超えている。（図IV-1-3）

過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。（図IV-1-4）

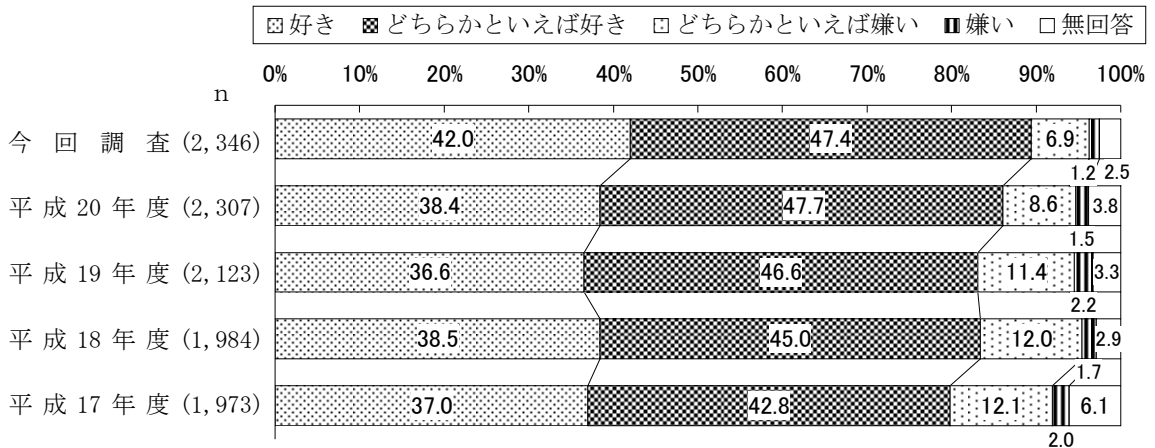
<図Ⅳ-1-2>性・年齢別／居住年数別／居住地域別



<図IV-1-3>居住地区別



<図IV-1-4>経年比較



(2) 好きな理由

◇「自然災害の少なさ」が6割近く、次いで「買い物など日常生活の便利さ」「自然環境の豊かさ」

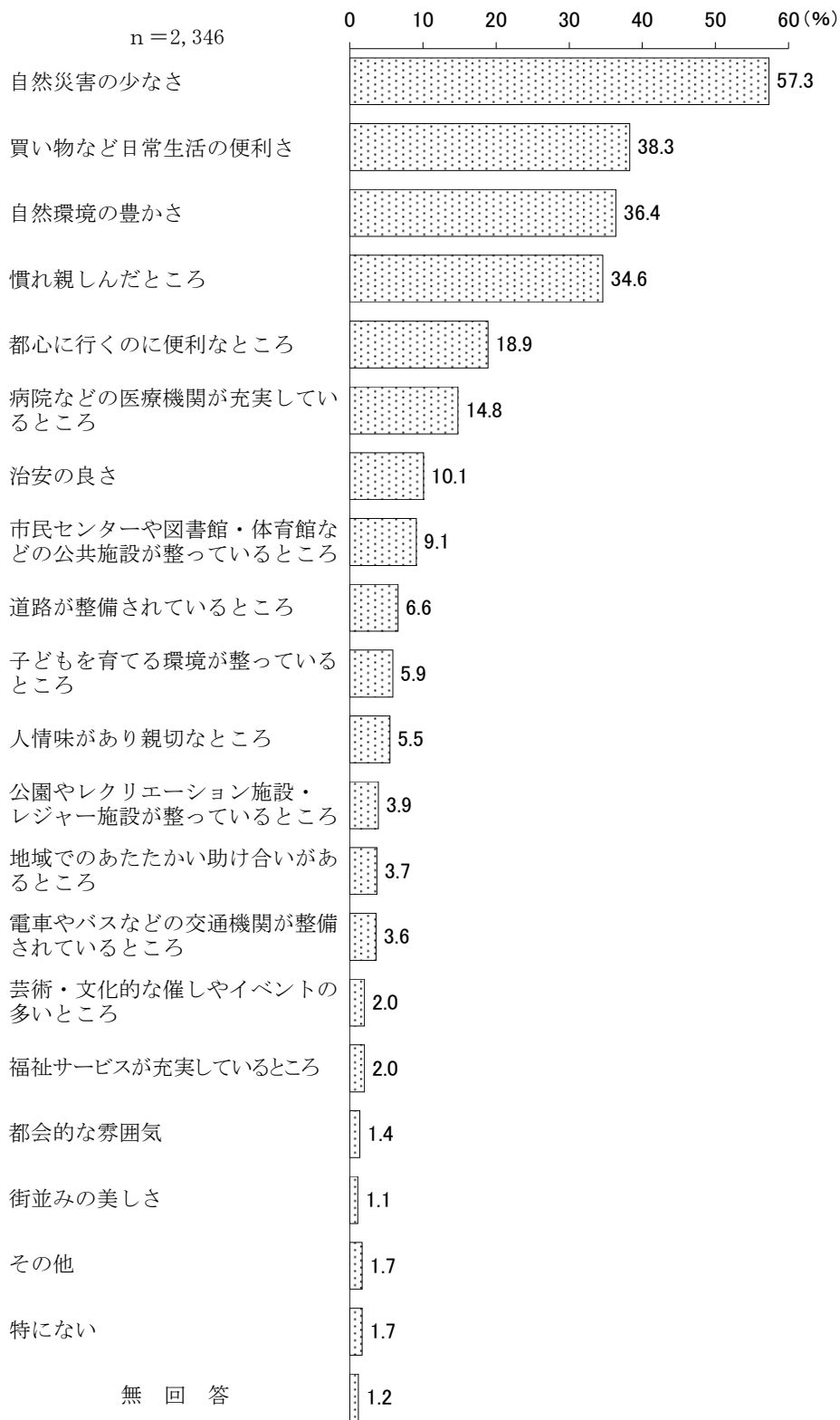
問2 宇都宮市の好きだと思うところをあげてください。(全員お答えください) (○は3つまで)	
	n = 2,346
1 自然環境の豊かさ	36.4%
2 都会的な雰囲気	1.4
3 街並みの美しさ	1.1
4 買い物など日常生活の便利さ	38.3
5 病院などの医療機関が充実しているところ	14.8
6 電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	3.6
7 道路が整備されているところ	6.6
8 芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	2.0
9 市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	9.1
10 公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	3.9
11 福祉サービスが充実しているところ	2.0
12 地域でのあたたかい助け合いがあるところ	3.7
13 子どもを育てる環境が整っているところ	5.9
14 人情味があり親切なところ	5.5
15 治安の良さ	10.1
16 都心に行くのに便利なところ	18.9
17 自然災害の少なさ	57.3
18 慣れ親しんだところ	34.6
19 その他	1.7
20 特にない	1.7
(無回答)	1.2

宇都宮市で好きだと思うところを聞いたところ、「自然災害の少なさ」(57.3%)が6割近くで最も高く、次いで「買い物など日常生活の便利さ」(38.3%)、「自然環境の豊かさ」(36.4%)、「慣れ親しんだところ」(34.6%)の3項目がいずれも3割台などの順となっている。(図IV-1-5)

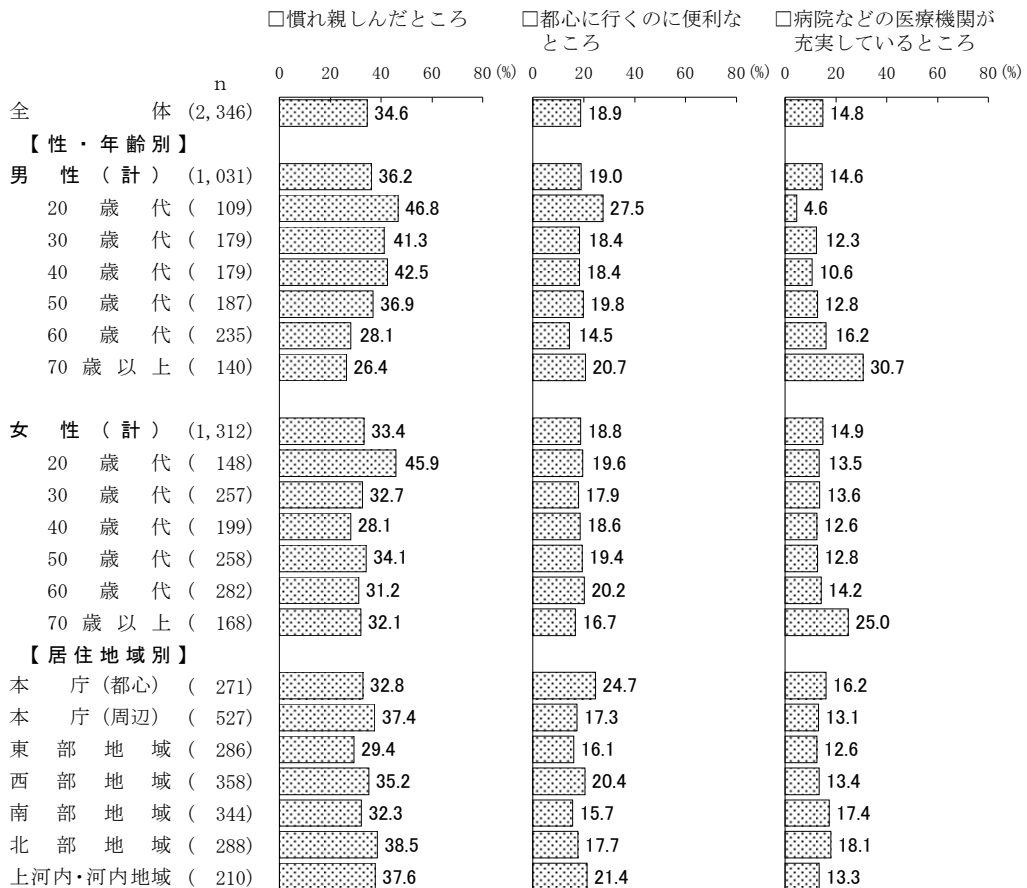
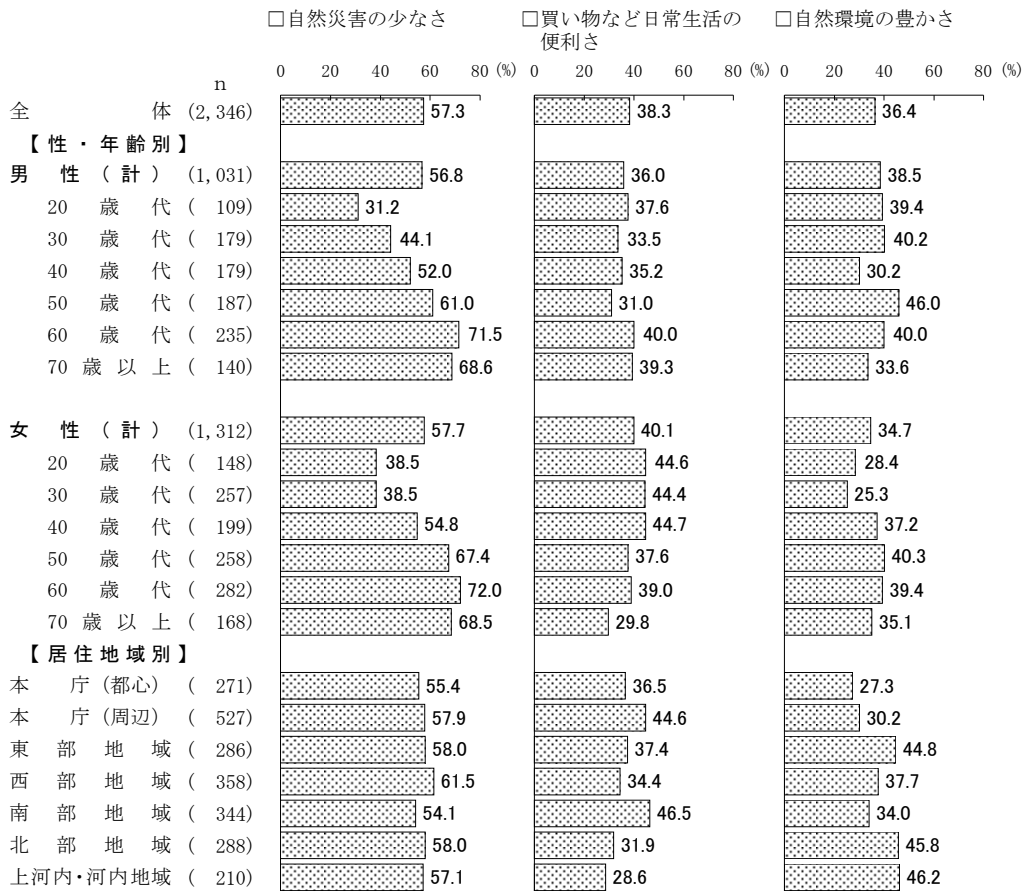
上位6項目について性・年齢別で見ると、「自然災害の少なさ」は女性では<60歳代>(72.0%)で7割を超え、<70歳以上>(68.5%)、<50歳代>(67.4%)でも7割近くとなっている。男性でも<60歳代>(71.5%)、<70歳以上>(68.6%)と7割前後となっている。「買い物など日常生活の便利さ」では、女性<20歳代~40歳代>で4割台半ばとなり、男性<60歳代~70歳以上>で約4割となっている。また、「自然環境の豊かさ」では、男女ともに<50歳代>で4割を超え最も高くなっている。(図IV-1-6)

居住地域別で見ると、「自然災害の少なさ」は<西部地区> (61.5%) が6割を超え最も高くなっている。「買い物など日常生活の便利さ」では<南部地域> (46.5%), <本庁(周辺)> (44.6%) で4割台半ばとなっており、「自然環境の豊かさ」では<上河内・河内地域> (46.2%), <北部地域> (45.8%), <東部地域> (44.8%) で4割台半ばとなっている。(図IV-1-6)

<図IV-1-5>全体



<図IV-1-6>性・年齢別／居住地域別（上位6項目）



(3) 嫌いな理由

◇「街に活気がないところ」が4割を超え、次いで「交通マナーの悪さ」が3割台半ば

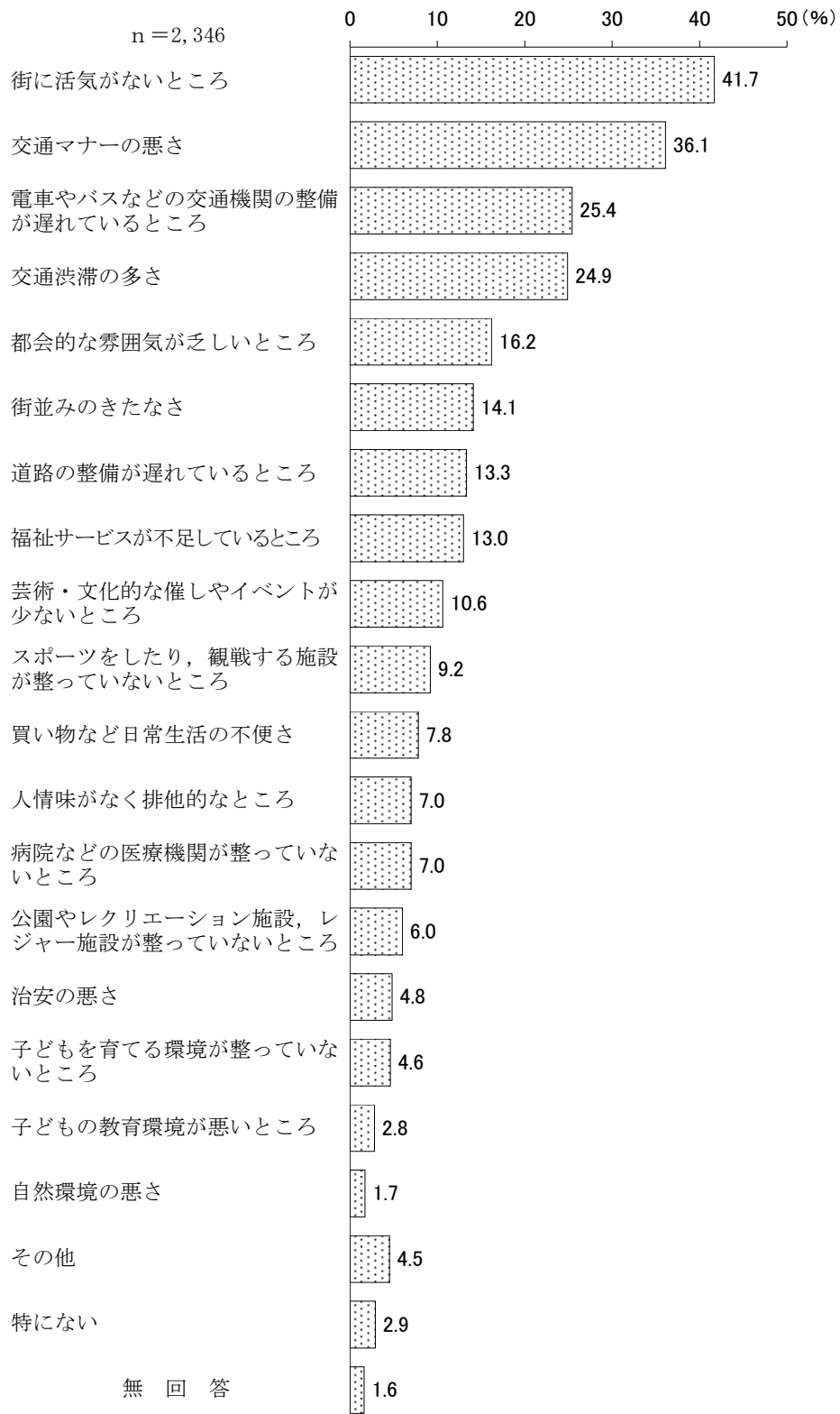
問3 宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。(全員お答えください) (○は3つまで)		n = 2, 346
1	自然環境の悪さ	1.7%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	16.2
3	街並みのきたなさ	14.1
4	買い物など日常生活の不便さ	7.8
5	病院などの医療機関が整っていないところ	7.0
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	25.4
7	道路の整備が遅れているところ	13.3
8	芸術・文化的な催しやイベントが少ないところ	10.6
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	9.2
10	公園やレクリエーション施設, レジャー施設が整っていないところ	6.0
11	福祉サービスが不足しているところ	13.0
12	交通渋滞の多さ	24.9
13	街に活気がないところ	41.7
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	4.6
15	子どもの教育環境が悪いところ	2.8
16	治安の悪さ	4.8
17	人情味がなく排他的なところ	7.0
18	交通マナーの悪さ	36.1
19	その他	4.5
20	特にない	2.9
	(無回答)	1.6

宇都宮市の嫌いだと思うところを聞いたところ、「街に活気がないところ」(41.7%)が4割を超えて最も高く、次いで「交通マナーの悪さ」(36.1%)が3割台半ば、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」(25.4%)と「交通渋滞の多さ」(24.9%)がともに2割台半ばなどの順となっている。(図IV-1-7)

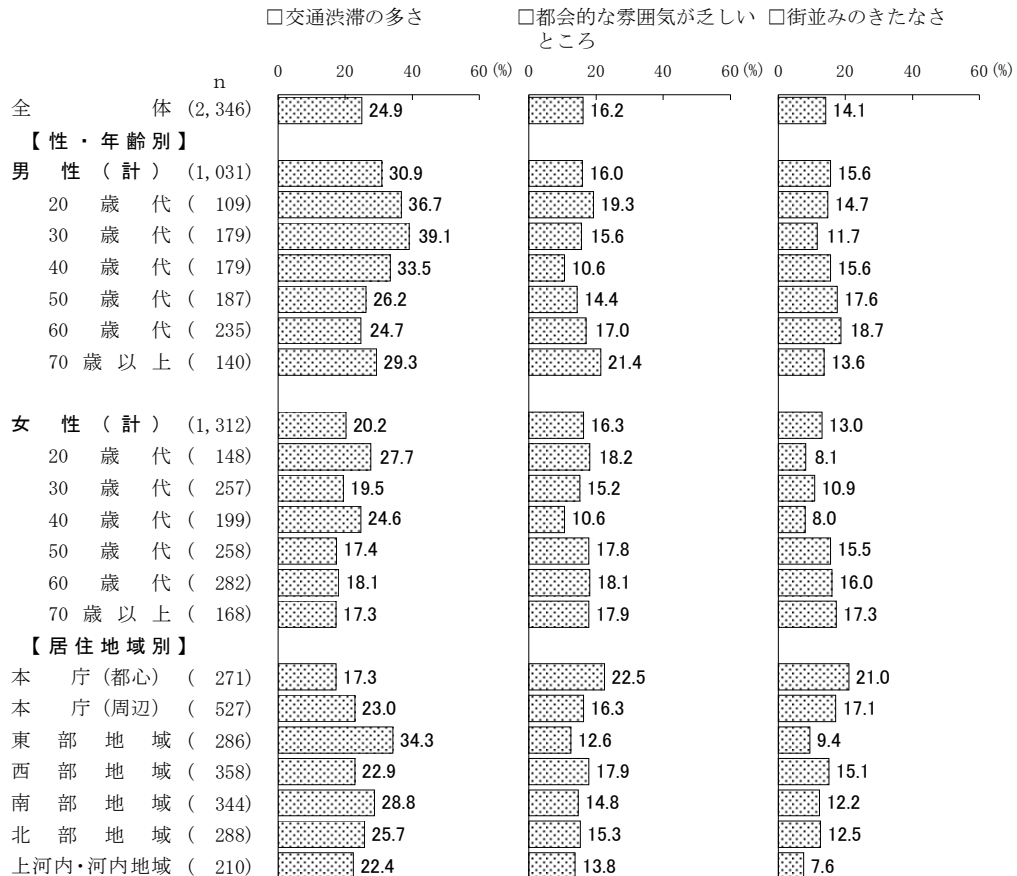
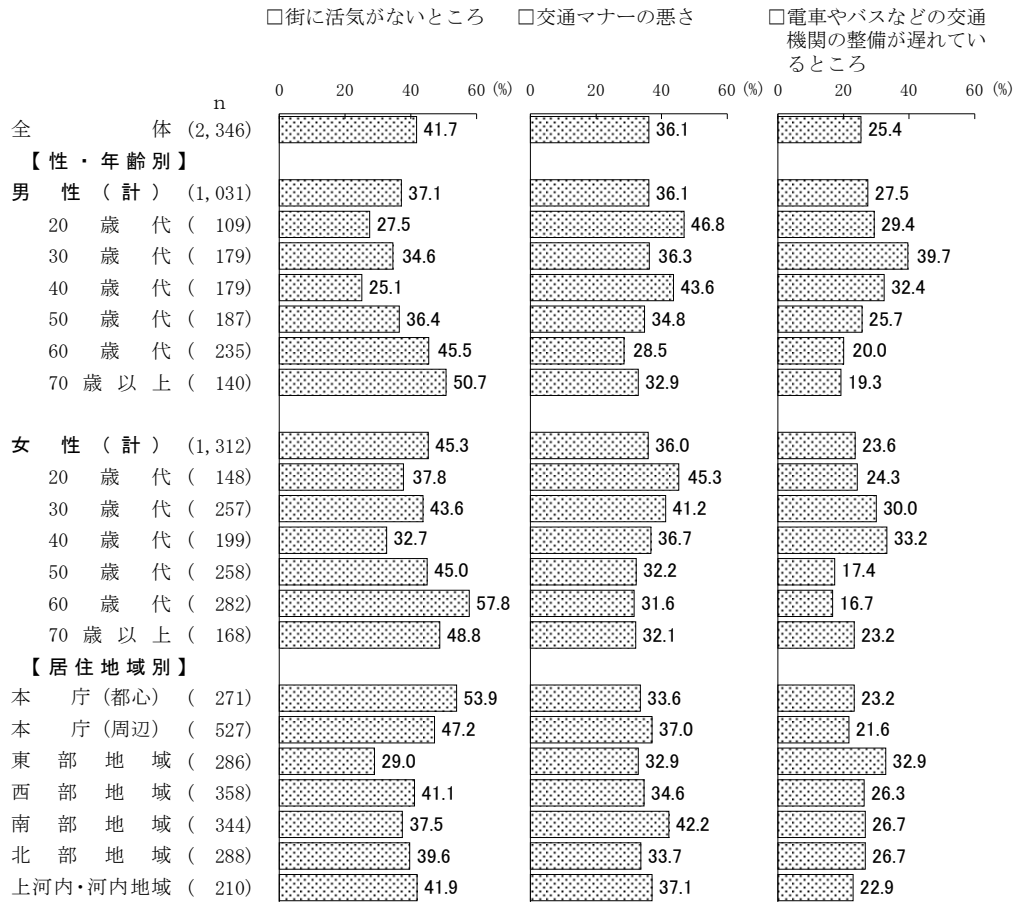
上位6項目について性・年齢別で見ると、「街に活気がないところ」は<男性/70歳以上>、<女性/60歳代>で5割を超えて高く、また「交通マナーの悪さ」では、<男性/20歳代>(46.8%)で5割近く、<女性/20歳代>(45.3%)で4割台半ばとなっている。(図IV-1-8)

居住地域別で見ると、「街に活気がないところ」は<本庁(都心)>(53.9%)で5割を超えて高く、「交通マナーの悪さ」では<南部地域>(42.2%)で4割を超えている。(図IV-1-8)

<図IV-1-7>全体



<図IV-1-8>性・年齢別／居住地域別（上位6項目）



(4) 住みたい地域

◇「住宅地」が5割を超え、次いで「周辺住宅地」が2割を超える

問4 宇都宮市を次の4つの地域に区分すると、どの地域に住みたいと思いますか。(○は1つ)

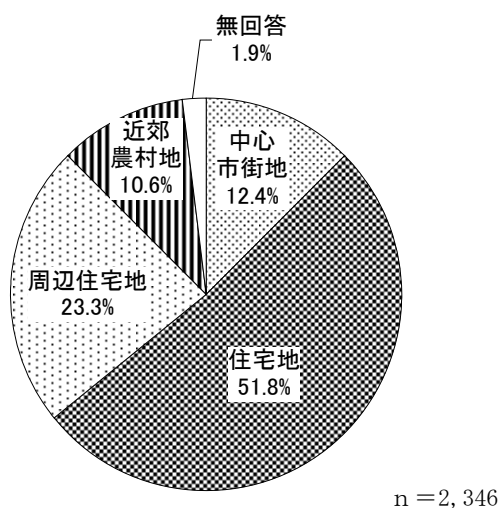
n = 2,346

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 中心市街地／JR宇都宮駅周辺から東武宇都宮駅周辺を結ぶ、商業施設やオフィス、住居などが集積し、二荒山神社や宇都宮城址公園・八幡山公園などがある宇都宮市の中心部 | 12.4% |
| 2 | 住宅地／上記1の中心市街地の周辺で宇都宮環状道路（宮環）の内側にあり、鉄道駅からは少し離れているが、日常生活品を販売している商業施設などがある既存の住宅地 | 51.8 |
| 3 | 周辺住宅地／上記2の住宅地の外周部で宇都宮環状道路（宮環）の外側にあり、鉄道駅からは離れているが、ロードサイドショップ(※)などが近接する近年開発された郊外の新興住宅地 | 23.3 |
| 4 | 近郊農村地／農地や山林などが広がる地域 | 10.6 |
| | (無回答) | 1.9 |

※ロードサイドショップ…郊外部の幹線道路沿いに立地し、大型駐車場などを備えた店舗

宇都宮市を周辺環境から4つの地域に区分したとき、どの地域に住みたいか聞いたところ、「住宅地」(51.8%)が5割を超えて最も高くなっている。「周辺住宅地」(23.3%)は2割を超えており、「中心市街地」(12.4%)と「近郊農村地」(10.6%)はともに1割台である。(図IV-1-9)

<図IV-1-9>全体

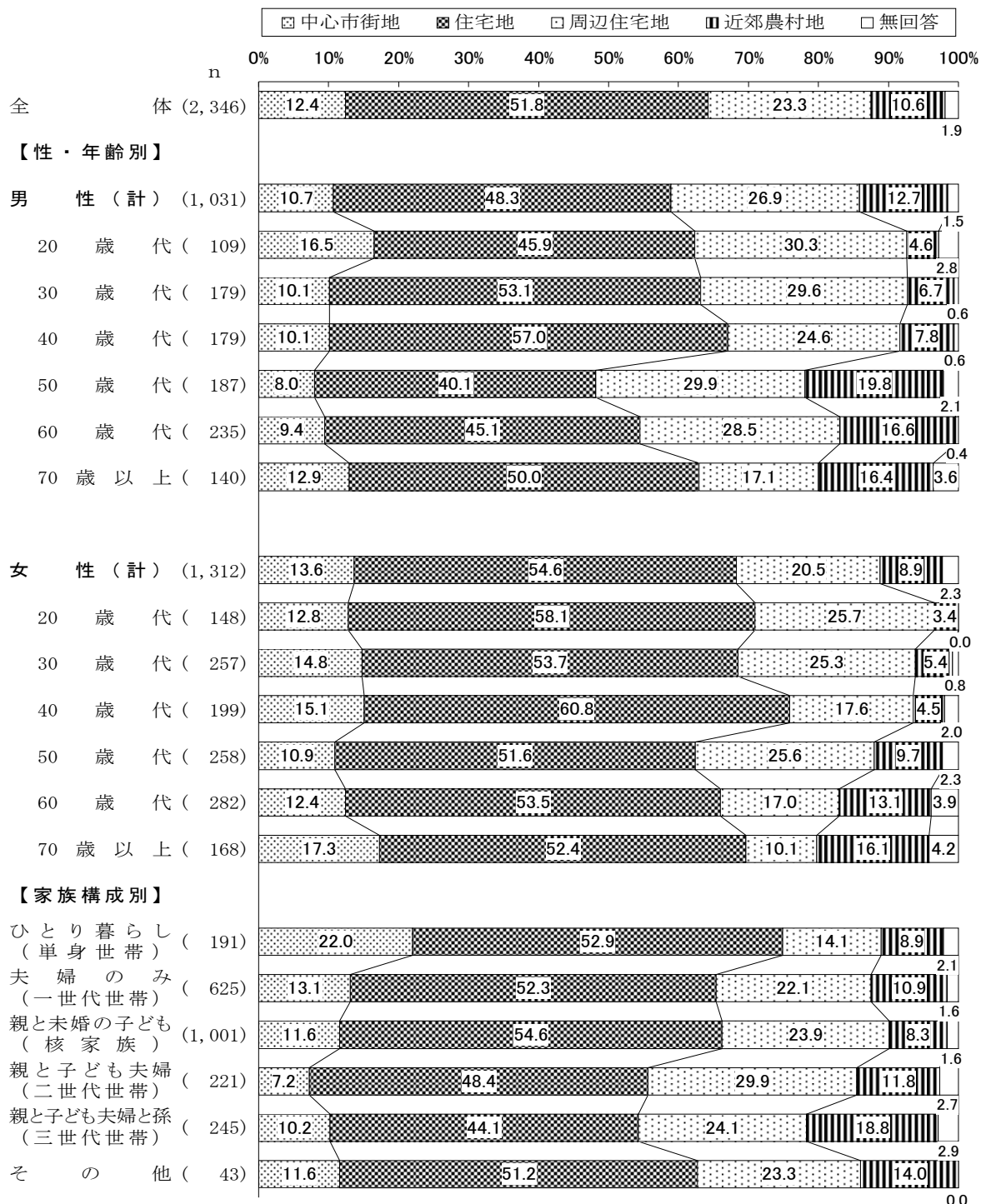


性・年齢別で見ると、「住宅地」は男女ともに<40歳代>が6割前後で最も高くなっている。「周辺住宅地」は男性<20歳代> (30.3%), <50歳代> (29.9%), <30歳代> (29.6%) で約3割となり、女性<20歳代> (25.7%), <50歳代> (25.6%), <30歳代> (25.3%) で2割台半ばとなっている。(図IV-1-10)

家族構成別で見ると、「住宅地」は<親と未婚の子ども(核家族)> (54.6%) が5割台半ばで最も高くなっている。「周辺住宅地」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)> (29.9%) で約3割となっている。(図IV-1-10)

居住地区別で見ると、「住宅地」は<陽南> (84.0%) が8割台半ばで最も高くなっている。「周辺住宅地」は<国本> (47.5%) で4割台半ばとなっている。(図IV-1-11)

<図IV-1-10>性・年齢別/家族構成別



<图IV-1-11>居住地区别

